コウヨウザンの初期成長について－１年生裸苗のサイズ別植栽試験７年間の記録－

林業技術センター　林業研究部　　坂田勉、古本拓也、山本啓

試験の概要

表−1　試験の概要

植栽地	林業技術センター三次市高平試験地
植栽日	2018（H30）年4月20日
苗木	コウヨウザン実生1年生裸苗（中国産種子）
植栽本数・植栽密度	104本　，　2,500本/ha
植栽地の概況	南向斜面上部，弱乾性褐色森林土（クロボク混じり）
忌避剤，散布日	コニファー水和剤，1回目：H30年5月，2回目：H31年1月
保育管理	全面下刈り：H30年8月17日
	つぼ刈：H30年6月21日（全木），R元年8月2日（50cm以下）
	蔓切り：R元年8月，9月，R2年12月、R4年8月
調査日	H30/5/11，11/30，R元/8/8，11/21，R2/12/17，R3/11/29,R4/12/8

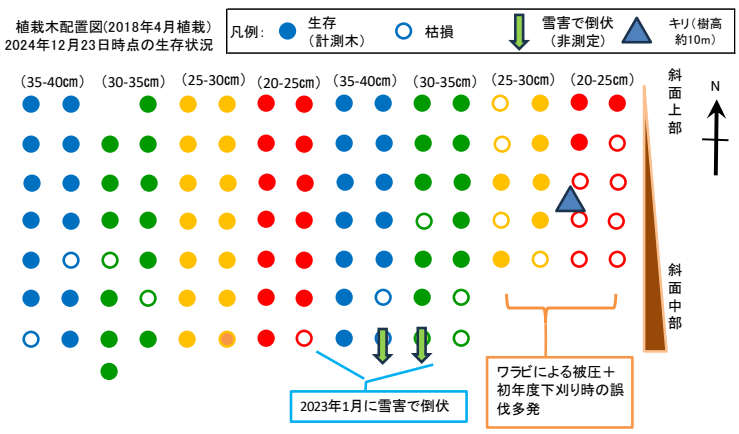


図１　植栽木配置図及び植栽木の状況(2024年12月)



写真１　試験地の状況（2024年10月撮影）

成長の記録

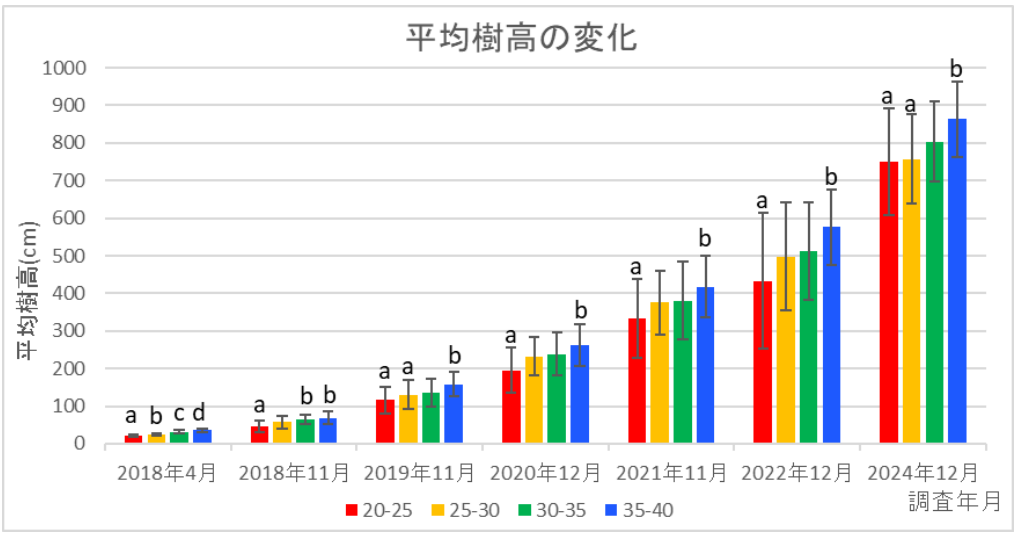


図２　各試験区の平均樹高の変化
（ｴﾗｰﾊﾞｰは標準偏差，異なるｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ間に5%水準で有意差あり）

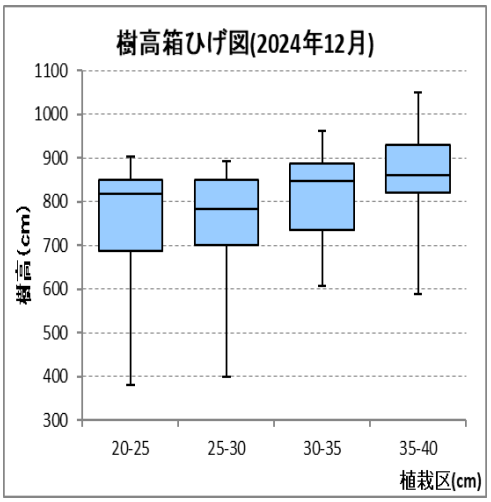


図３　樹高箱ひげ図（第７成長期）

まとめ

- 試験地のコウヨウザンは旺盛な成長を示し、7成長期経過時（2024年12月）の平均樹高は750cm～863cmであった。
- 樹冠閉鎖は5成長期からり、7成長期後には林内の下層植生が衰退していたが、下枝の枯れ上りが約1mに進んでおり、今後はコウヨウザンの落葉落枝が地表を覆うと見られた。
- 今後も成長調査を継続する。



写真２　林内の状況（2024年12月撮影）

All Copyrights Reserved, 広島県立総合技術研究所, 2025